

家庭学習のすすめ



山の手小学校では、6年間を通して、『自分から学ぶ学習習慣』を付け、『学力』を付けていくことができる子に育つように家庭学習の取組を推進しています。

お子さんの様子に合わせて、お家の方が問題を書いたり、一緒に考えたりしてあげることも良いかと思えます。また、お家で取り組んでいる教材（通信教育や学習ドリル）は学校へは提出せず、ご家庭で丸付けをして励ましの声をかけてあげてください。

「自分から 自分で 学べる子」に育っていくように、学校と家庭と連携をしながら、お子さんの成長の一助となるよう、取組へのご協力をよろしくお願いいたします。

さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐものです。

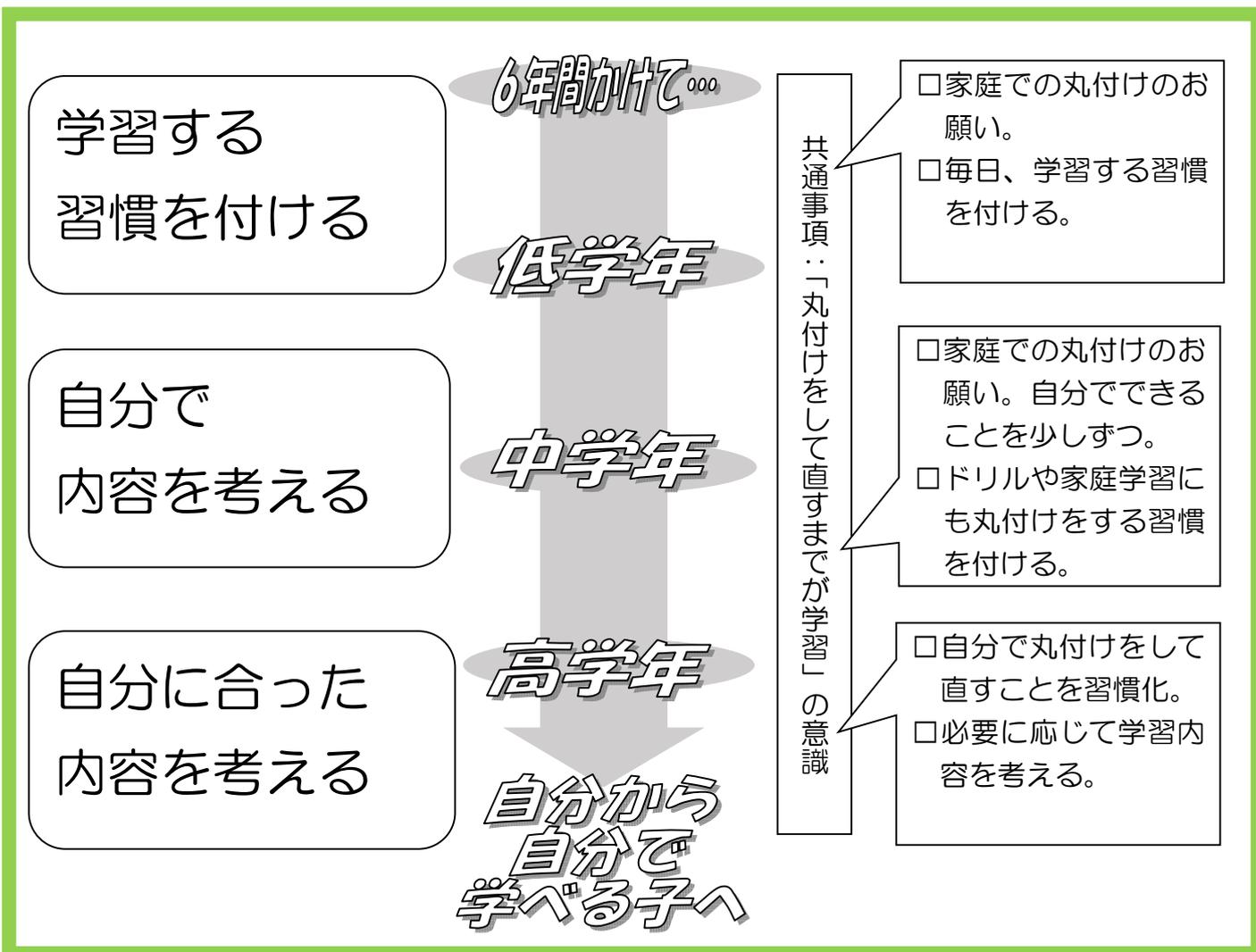
子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

まほうのかいわ

学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり

- ま** 学んだことを一緒に振り返りましょう。
- ほ** 方法を一緒に考えましょう。
- の** 伸びを認め、ほめましょう。
- か** 改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。
- わ** わからないことと挑戦できるよう励ましましょう。

SAPPORO 札幌市教育委員会





かていがくしゅうのすすめ



<三つのルール>

- 1、ひにちと ようびを かこう…いつなにをしたのかがわかるように
- 2、じや すうじを ていねいに かこう
- 3、おうちのひとに まるつけをしてもらって、まちがいが あったら、
なおしてもってこよう

がっこうで べんきょう したことを、おうちで もういちど べんきょうしましょう。
まいにち がっこうで もらう ぶりんとを やりましょう。

保護者のみなさまへ

宿題は、家ででの学習習慣を身に付けるためのものです。学校からのプリントに家で取り組んでください。できれば、毎日時間と場所を決めて取り組めるようにお子さんと話していただければと思います。お家の方に丸付けをお願いします。間違いがある場合は、もう一度チャレンジをさせたり、正しく直したりするなどをして、学校に持たせてください。

繰り返し取り組んでいく中で、プリントだけでは物足りない様子が見られるときは、下の様なことにも挑戦させてみてください。(勉強の負担が大きくなるに、楽しみながら進められるよう声を掛けて励ましてください。)

1. 宿題について

学校から出るもの(月～金)プリント1枚

2. 家庭学習について

教科書の文章を国語のノートに視写する。

習ったひらがな(漢字)を使った言葉をたくさん集めて書く。

その日の出来事を文章に書く。

習った数字を書く練習をする。

数字の数だけ絵を描く。

生活の中で見付けたことを絵に描く。

など

家庭学習に挑戦する場合は、専用のノート(学校で使っているものと同じ形式のもの1冊)を準備してください。(10マスの国語ノートだと、横向きにして算数にも使えます。)

上記以外でも学校での取組を、もう一度やってみようとする姿がありましたら、ぜひ、ご協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。



かてい学しゅうのすすめ



<三つのルール>

- 1、日にちとよう日をかこう…いつなにをしたのかがわかるように
- 2、とりくんだじかんをかこう…がくねん×10分(20分)をめざしましょう!
- 3、ならったかん字は、かならずつかおう…つかわないとわすれてしまいます

2年生のみなさん、しゅくだいをがんばっていますね。さて、おうちでしゅくだいをしていて、じぶんが手がなこともっとれんしゅうしたいこと、もっとくわしくりしたいことはありませんでしたか? 2年生からはしゅくだいのほかに、かてい学しゅうにとりくんでみましょう。かてい学しゅうのヒントをしょうかいします。はじめは、ヒントの中からえらんでみるのもいいですね。

かてい学しゅうのヒント

◎ふくしゅうからはじめると、とりくみやすいですよ!

【くご】

- かん字れんしゅう
 - ・きょうかしょやかん字ドリルを見て、「とめ」「はね」「はらい」に気をつけてかきましょう。
 - ・文づくりが、おすすめです。文の中でかん字をつかうとわすれにくく、かん字のいみもおぼえられます。
- ことばあつめ
 - ・「はる」といえば…で、おもいつくことばをかき出したり、している「花」の名まえをかいいたりするなど、じぶんのことばをふやしましょう。
- 日き
 - ・「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうした」のかが、わかるようにかきましょう。
- おはなしづくり
 - ・「はじめ」「中」「おわり」をかんがえて、かいてみましょう。

【さんすう】

- けいさんれんしゅう
 - ・きょうかしょのもんだいをおさらいしましょう。
- 1年生のふくしゅう
- しゅくだいやテストの見なおし
 - ・まちがえたもんだいをもう1どやりなおすと、おなじまちがいをしなくなります。
- けいさんドリル
 - ・ノートにかいてまるつけをしましょう。テストにむけて、れんしゅうするのもよいですね。

【生かつ】

- 『○○ずかん』づくり
 - ・虫、しょくぶつなどをしらべてつくりましょう。

【そのほか】

- しらべ学しゅう
 - ・じぶんがおもしろいとおもったことをずかんやじてんなどをつかってしらべてみましょう。じぶんの見たことやしたことをかいてもよいですね。本やしんぶんをつくるのもよいですね。

保護者のみなさまへ

1. 宿題について (月~木曜日) 学校から出るプリント (月~金曜日) 音読
宿題は、家での学習習慣を身に付けるためのものです。
 - ・プリントを、一日1枚(国語・算数) 取り組んでください。できれば、毎日時間と場所を決めて取り組めるようにお子さんと話していただければと思います。丸付けをして、毎日学校に持たせてください。
 - ・音読は、「姿勢」「口の開け方」「声の大きさ」「読む速さ」に気を付けて、聞いてあげてください。上手な読み方や、上達した部分などは、大いに声掛けをしてあげてください。
2. 家庭学習について (金曜日)
専用のノート(1年生で使ったノートの余りや、2年生が学校で使っているものと同じ形式のノート【国語でも算数でも可】)をご用意ください。家庭学習は提出した日に返却できないことがあります。提出日以外にも学習したい場合は、2冊をご用意ください。丸付けをして、学校に持たせてください。

家てい学しゅうのすすめ



<三つのルール>

- 1、日にちとよう日を書こう…いつ何をしたのかがわかるように
- 2、とりくんだ時間を書こう…学年×10分（30分）を目指しましょう！
- 3、ならったかん字は、かならずつかおう

家てい学しゅう用のノートを1さつじゅんび！

家庭学習のヒント

【国語】

◇かん字れんしゅう

- ・教科書やかん字ドリルをつかって、いつでも「読めて」「書ける」ように、たしかめましょう。
- ・かん字テストでまちがえたかん字をノートに書き出して、れんしゅうしてみましょう。
- ・かん字をつかって文を作ってみましょう。文の中でかん字をつかうことで、いみもいっしょにおぼえることができます。

◇音読

- ・「しせい」「口のあけかた」「声の大きさ」「読むはやさ」に、気をつけましょう。
- ・お家の人に聞いてもらいましょう。

◇いみしらべ

- ・分からないことばは、すぐにじてんを引いてしらべることでことばの力がつきます。じてんとなかよくしましょう。

◇日記

- ・いつ、どこで、だれが、何を、どうしたのかが分かるように書きましょう。

【算数】

◇計算れんしゅう

- ・教科書のもんだいをおさらいしたり、教科書の「ステップアップ算数」にとり組んだりするのもおすすめです。とくに、「ステップアップ算数」は答えがついているので自分ですぐたしかめることができべんりです。
- ・学校でつかっている計算ドリルを持ち帰って家てい学しゅうにするのもいいですね。同じもんだいでもくりかえし計算することでまちがうくせが見つかったり、計算の自しんがついたりします。

◇しゅくだいやテストの見直し

- ・同じまちがいをしないためにも、ときなおすことが大切です。

◇2年生までのふくしゅう

◇文しょうもんだいづくり

- ・自分が先生になったつもりで作ってみると、国語の学しゅうにもなります。

【理科】

◇しよくぶつや虫のかんさつ

◇「〇〇図かん」作り

◇太ようのうごきかんさつ

◇じしゃくのはたらきしらべ

※理科や社会は授業と合わせて進めるといいですね。

【社会】

◇地図記ごうしらべ

◇地形しらべ

◇スーパーしらべ

◇むかしの道ぐしらべ

保護者のみなさまへ

曜日	月	火	水	木	金
取組	算数プリント	かん字ドリル	計算ドリル	国語プリント	家てい学しゅうノート

家庭学習はノート1ページを目安に取り組みます。初めの頃は、ノートに問題を書いてあげたり、一緒に内容を考えたりすることも良いかと思えます。4年生に向けて、自分で内容を考えられるようになっていけるといいですね。家庭学習やドリルも、必ず丸付けをして直しをるところまで見てあげてください。月から木までの宿題のある時も自分のペースに合わせて家庭学習に取り組んでみましょう。



家庭学習のすすめ



<三つのルール>

- 1、日にちと曜日を書こう…いつ何をしたのかきろくしておくために
- 2、取り組んだ時間を書こう…学年×10分（40分）を目指しましょう！
- 3、習った漢字はかならず使おう…使わないとわすれてしまいます

「家庭学習って何をすればいいの？」とこまっている人はいませんか？
何をすればいいのかは、人それぞれちがいます。家庭学習では、自分が苦手なことやもっと練習が必要なこと、もっとくわしく知りたい、調べたいことに取り組みます。
つまり、「どんな家庭学習をしようか？」ではなく「今、自分に必要な学習は何なのか？」を考えて取り組んでほしいのです。家庭学習は、何より自分のために！！
いくつか家庭学習のヒントをご紹介します。3年生の時よりもレベルアップを目指しましょう！

家庭学習のヒント 目標：1日 1～2ページ

【国語】

- ・漢字練習（文作り、書き順や使い方をまとめることなどがおすすめです。）
- ・音読（お家の人に聞いてもらいましょう。コメントをもらったり、感想を書いたりしましょう。）
- ・視写（教科書の文をていねいに視写することで漢字の学習にもつながります。）
- ・言葉集め（テーマを決めて、思い付く言葉を書き出し、それをもとに一句作りもおすすめです。）
- ・意味調べ（身近で見聞きした意味の分からない言葉をすぐに調べることで力が付きます。）
- ・ローマ字練習

【算数】

- ・計算練習
（教科書の問題の解き直しや教科書にある「ステップアップ算数」に取り組むのもおすすめです。）
 - ・3年生までの復習（たし算・ひき算の筆算・分数・小数・かけ算の筆算など）
 - ・テストで間違った問題の解き直し（同じ間違いをしないためにも、もう一度解き直しましょう。）
- ※問題に取り組むときは、丸付けと直しまでしてください。

【社会】

- ・北海道調べ、日本の都道府県調べ
 - ・地図記号調べ
 - ・名産品調べ
 - ・世界の国旗調べ
- ※学校で学習したことを自分なりにまとめるといいですね。
※授業の進度に合わせて進めるといいですね。

【理科】

- ・季節ごとの生き物調べ
- ・天気による気温変化（新聞やニュースの情報をまとめる。）
- ・星座調べ

【その他】

- ・調べ学習（チャレンジしてみよう！）
（図鑑や辞典を使って、興味のあることを調べる。）
- ※<調べたきっかけ><調べたこと><感想>
などをまとめるといいですね。
- ・ミニ新聞作り
 - ・ミニ図鑑作り

<<ノートまとめのポイント>>

- ☆学習の積み重ねが分かるようにていねいに書こう！
- ☆大事なキーワードは目立たせる！

かこみ

色

線

<宿題の取り組み方>

曜日	取組
月	プリント
火	漢字ドリル
水	家庭学習
木	計算ドリル
金	家庭学習

※曜日は、行事等の都合により変更になる場合もあります。



家庭学習のすすめ



<三つのルール>

- 1、日にちと曜日を書こう…いつ何をしたのか記録しておくために
- 2、取り組んだ時間を書こう…学年×10分（50分）を目指しましょう！
- 3、文字をていねいに書こう…習った漢字を使って ていねいに書きましょう

50分を目標に 集中して取り組みましょう！

家庭学習の目的は、大きく二つあります。一つ目は、家で学習する習慣を身に付けること、二つ目は、自分の学力をアップさせることです。自分の学力をアップさせるには、自分の得意なことだけではなく、苦手なものにも取り組んでいかななくてはなりません。また、目標の時間はありますが、ただだらりと時間が過ぎていくのでは意味がありません。大切なのはどれだけ集中して取り組めるかです。毎日、自分の目標をもって取り組んでいきましょう。

家庭学習のヒント

火～木曜日（基本1～2ページ）

【国語】

- ・漢字の練習 漢字1文字を何回も書くのではなく、その漢字の使い方を学ぶためにも、言葉や文にして練習しましょう。意味を調べるのもいいですね。
- ・日記 その日にあった出来事やその時に感じたことや考えたことを書きましょう。まとめる力が伸びます。
- ・ことば調べ たくさんあることわざや四字熟語の意味を調べたり、それらを使った短文を考えたりしてみるのもいいですね。

【算数】

- ・計算練習 何回も繰り返し練習することで、正確さやスピードを身に付けていきましょう。
- ・テストやプリントの直し 特に、間違えた問題や悩んだ問題を直しましょう。次に同じような問題が出てきた時にできるようにすることが学力アップのポイントです。

※問題などに取り組んだ時は、丸付けをして直すまでがその日の家庭学習です。

【社会】

- ・都道府県調べ 都道府県名を正しく覚えておくと、中学の社会でも役立ちます。さらに、県庁所在地や、各都道府県の有名なものなどを調べるのもいいですね。
- ・学校で学習したことの復習 山地や平野など、学習したことの要点をまとめることで、理解を深めましょう。

【理科】

- ・学校で学習したことの復習 学習したことの要点をまとめることで、理解を深めましょう。

【その他】

- ・家庭科や外国語、体育など、学校で学習したことをポイントを押さえてまとめたり、図を使ってまとめたりするのもいいですね。

金曜日（調べ学習）

- ・興味をもったことについて、本やインターネット、人に聞くなどして調べてみましょう。
 - 題名（テーマ）
 - きっかけ
 - 調べた内容（調べた方法も書くといいですね。）
 - 感想（感想を書くことで考える力が付きます。どこのポイントでどんなことを感じたのかをくわしく書いてみましょう。）

金～日曜日の中で、取り組める時に、チャレンジしましょう。月～木曜日にも取り組める人は、挑戦してみましょう！

月曜日は宿題（プリントかドリル）を出します。



家庭学習のすすめ



<三つのルール>

- 1、日にちと曜日を書こう…いつ何をしたのか記録しておくために
 - 2、取り組んだ時間を書こう…学年×10分（60分）を目指しましょう！
 - 3、習った漢字は必ず使おう…使わないと忘れてしまいますね
- 60分を目標に 集中して取り組みましょう！**

家庭学習の目的は、大きく二つあります。一つ目は、家で学習する習慣を身に付けること、二つ目は、自分の学力をアップさせることです。自分の学力をアップさせるには、自分の得意なことだけではなく、苦手なものにも取り組んでいかななくてはなりません。また、集中して取り組むことも大切です。家庭学習とはいえ、宿題と同じ気持ちで、毎日、自分の目標をもって取り組んでいきましょう。

家庭学習のヒント

月～木曜日（基本1～2ページ）

【国語】

- ・日記 その日にあった出来事やその時に感じたことや考えたことを書きましょう。まとめる力が伸びます。
- ・漢字の練習 漢字1文字を何回も書くのではなく、その漢字の使い方を学ぶためにも、言葉や文にして練習しましょう。意味を調べるのもいいですね。
- ・視写 教科書の文や新聞の記事などを書き写すことで、文章の書き方や漢字の練習にもなります。
- ・ことわざ、四字熟語調べ たくさんあることわざや四字熟語の意味を調べたり、それらを使った短文を考えたりしてみるのもいいですね。

【算数】

- ・計算練習 何回も繰り返し練習することで、正確さやスピードを身に付けていきましょう。
- ・テストやプリントの直し 特に、間違えた問題や悩んだ問題を直し直しましょう。図を用いたり解説を加えたりすることが学力アップのポイントです。

【社会】

- ・歴史上の人物、出来事調べ 学習に出てきた人物や出来事について、詳しく調べて分かりやすくまとめることで理解を深めましょう。

【理科】

- ・学校で学習したことの復習 学習したことの要点をまとめることで、理解を深めましょう。図を使ってまとめるといいですね。

【その他】

- ・家庭科や外国語、体育など、学校で学習したことをポイントを押さえてまとめたり、図を使ってまとめたりするのもいいですね。

※問題などに取り組んだ時は、丸付けをして直すまでがその日の家庭学習です。
※基本はその日の復習をしっかりすること。学習の定着につながります。

金曜日（調べ学習）

興味をもったことについて、本やインターネット、人に聞くなどして調べましょう。

- テーマ
- 調べたきっかけ
- 調べた内容（調べた方法も書くといいですね）
- 感想

感想を書くことで、考える力が付きます。どこのポイントで、どんなことを感じたのかをくわしく書きましょう！

金～日曜日の中で、取り組める時に、チャレンジしましょう。月～木曜日にも取り組める人は、挑戦してみましょう！

内容を書く時には、本やインターネットをそのまま書き写すのではなく、自分の言葉に直してまとめましょう。